



速報新聞

キマグレ

発行所  
彦根東高等学校

新聞部  
彦根市金亀町4番7号

# 速攻で優勝を目指せ

▶一生懸命に練習をする部員たち



## ハンドボール部

目指せインターハイ  
運動部 ⑦  
2017

今回は強い守りと素早い攻撃でインターハイ出場を目指すハンドボール部取材した。ハンドボール部は春季総合体育大会に向けて、日々練習に励んでいる。

ハンドボール部は3年生11人、2年生13人、1年生9人、マネージャーが3年生1人、2年生2人、1年生1人の計37人で活動している。火曜日は本校のグラウンドで、それ以外の日は彦根市市民体育センターで練習している。普段の練習ではパス練習や1対1、大会前は試合に近い6対6などもしているそうだ。

キャプテンの栗田直樹君(3-3)は

部活動の雰囲気について「初めは恥ずかしがってあまり盛り上がれなかったが、今ではシュートを決めたときなど盛り上がるべきときは元気に盛り上がれている」と話した。また普段の練習で心がけていることについて「試合では最終的に1対1が勝敗を分けることがあるので練習でも1対1を重点的に練習している」と述べた。春季総合体育大会に向けて「甘い戦いではないが守るときは全力で守り、攻撃するときは速攻で点を積み重ねていきたい。そうすれば試合にも勝っていける」と意気込んだ。



▲生徒たちへの期待を述べられる岡林先生

顧問の岡林洋平先生は生徒に指導するときに心がけていることについて「ただ単に動きを教えるのではなく、なぜそのように動かないといけないのかという動きの必然性やその動きの理由を教えるようにしている」と説明され、生徒に指導する中で大変なことについて「生徒によって納得する感覚が違うのでそこを探りながら指導しないといけないのが大変だ」と話された。また部員に「ときに元気に、ときに礼儀正しく、みんなに応援してもらえチームになってほしい」と期待された。

### 縁の下の力持ち

マネージャーの中江寿希さん(3-5)は部員のためにボトルの準備をしたり、部員の怪我の処理をしたりして支えている。また休日にはスコアを書いたり、先生の弁当の手配もしている。中江さんはボトルの水を半分以上に保つことを普段から心がけているそうだ。

中江さんは選手に向けてこれまで練習してきたことを発揮し、楽しんでほしい」とメッセージを送った。



▲自分の仕事について話す中江さん